

女性の社会参加に関する意識調査

調査のご協力のお願い

日頃は、県政に、格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

県では、就労をはじめとする女性の社会参加に関する意識や実態を把握し、女性がいいきと活躍するための施策の検討に活用させていただくことを目的として、「女性の社会参加に関する意識調査」を実施することといたしました。

この意識調査は、県内にお住まいの満20歳以上の方々の中から無作為抽出により選ばれた3,000人の方を対象に実施するものです。

ご回答は無記名でお願いするとともに、ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、あなた個人のお名前やご意見が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

お忙しいところ、お手数をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年5月 奈良県

記入上のお願い

1. あなたのお名前を書いていただく必要はありません。
2. この調査は、郵送させていただいた封筒のあて名の方ご自身で記入してください。
3. 問1から順にお答えください。質問によってはお答えしていただく方、お答えしていただく必要がない方がおられます。説明文にしたがってお答えください。
4. あなたのお考えや内容について、あてはまるものや近いものの番号に○印、または回答欄に番号、数字を記入してください。
もし、間違って記入された場合は、はっきりと×印を記入して訂正してください。
また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その具体的な内容を記入してください。
5. ご回答が済みましたら、同封しております返信用封筒に入れて、**平成26年6月20日（金）までに、お近くの郵便局またはポストに投函**してください。
(切手は不要です。)
6. この調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

奈良県 健康福祉部 こども・女性局 女性支援課
電話 0742-27-8729

問 1 あなたの性別は

1. 男性	39.9%
2. 女性	60.1%
不明・無回答	0.0%

問 2 あなたの年齢はおいくつですか

1. 20～24 歳	2.8%	7. 50～54 歳	15.1%
2. 25～29 歳	4.7%	8. 55～59 歳	13.9%
3. 30～34 歳	6.2%	9. 60～64 歳	9.8%
4. 35～39 歳	10.2%	10. 65～69 歳	6.8%
5. 40～44 歳	14.3%	11. 70 歳以上	0.4%
6. 45～49 歳	15.7%	不明・無回答	0.1%

問 3 あなたのご家庭の世帯構成は次のうちどれですか

1. 一人暮らし	3.5%
2. 一世代世帯(夫婦だけ)	18.2%
3. 二世帯世帯(親と子)	61.5%
4. 三世帯世帯(親と子と孫)	15.5%
5. その他の世帯(具体的に)	1.1%
不明・無回答	0.2%

問 4 あなたは、結婚(婚姻の届出のない事実婚を含む)されていますか

1. 未婚	16.2%
2. 結婚している	78.4%
3. 結婚していた(配偶者と離婚・死別等)	5.4%
不明・無回答	0.0%

問 5-1 あなたは、お子さんが何人おられますか(別居を含む)

1. 0人	22.7%	4. 3人	16.0%
2. 1人	14.5%	5. 4人以上	2.3%
3. 2人	43.1%	不明・無回答	1.4%

-2 お子さんがおられる場合、一番下のお子さんは、次のうちどれにあてはまりますか

1. 3歳未満	8.8%
2. 3歳以上就学前	6.8%
3. 小学生	13.8%
4. 中学生	9.9%
5. 高校生	8.8%
6. 大学生、専門・専修学校生	12.0%
7. それ以外	39.7%
不明・無回答	0.2%

問 6 あなたのお住まいは、どちらですか

1. 奈良市	26.9%	21. 曾爾村	0.0%
2. 大和高田市	4.1%	22. 御杖村	0.5%
3. 大和郡山市	7.0%	23. 高取町	1.0%
4. 天理市	4.8%	24. 明日香村	0.2%
5. 橿原市	7.4%	25. 上牧町	1.8%
6. 桜井市	4.3%	26. 王寺町	1.8%
7. 五條市	1.9%	27. 広陵町	1.6%
8. 御所市	1.6%	28. 河合町	1.7%
9. 生駒市	9.2%	29. 吉野町	0.6%
10. 香芝市	5.5%	30. 大淀町	1.0%
11. 葛城市	2.4%	31. 下市町	0.9%
12. 宇陀市	2.6%	32. 黒滝村	0.0%
13. 山添村	0.3%	33. 天川村	0.0%
14. 平群町	1.2%	34. 野迫川村	0.0%
15. 三郷町	1.3%	35. 十津川村	0.4%
16. 斑鳩町	2.8%	36. 下北山村	0.0%
17. 安堵町	0.9%	37. 上北山村	0.0%
18. 川西町	1.0%	38. 川上村	0.4%
19. 三宅町	0.6%	39. 東吉野村	0.0%
20. 田原本町	2.4%	不明・無回答	0.0%

問 7 すべての方がお答えください

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのよ
うに思いますか (○は1つ)

1. 賛成	5.2%
2. どちらかといえば賛成	44.5%
3. どちらかといえば反対	34.7%
4. 反対	14.4%
不明・無回答	1.3%

問 8 女性の生き方について、女性の方はあなた自身について、男性の方は配偶者につい
て下記1～9の番号から一つ選んで記入して下さい

女性の方、配偶者のおられる男性の方のみお答えください

① 現在及び今後見込まれると思われる生き方は、どれに近いですか

1. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない	8.1%
2. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ	42.2%
3. 結婚し子どもを持つが、仕事を持たない	5.0%
4. 結婚し子どもを持つが、仕事を続ける	24.1%
5. 結婚し子どもは持たず、仕事を持たない	0.8%
6. 結婚し子どもは持たず、仕事を続ける	2.9%
7. 結婚せず、仕事を持たない	0.4%
8. 結婚せず、仕事を続ける	2.6%
9. その他(具体的に)	1.6%
不明・無回答	12.3%

すべての方がお答えください

②最も望ましいと思われる女性の生き方は、どれに近いですか

- | | |
|--|-------|
| 1. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない | 6.1% |
| 2. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ | 49.6% |
| 3. 結婚し子どもを持つが、仕事を持たない | 2.7% |
| 4. 結婚し子どもを持つが、仕事を続ける | 29.1% |
| 5. 結婚し子どもは持たず、仕事を持たない | 0.1% |
| 6. 結婚し子どもは持たず、仕事を続ける | 0.5% |
| 7. 結婚せず、仕事を持たない | 0.1% |
| 8. 結婚せず、仕事を続ける | 0.4% |
| 9. その他(具体的に) | 3.6% |
| 不明・無回答 | 7.7% |

問9 すべての方がお答えください

あなたは小さい頃(おおむね小学生の頃)、仕事や家事、子育てに関するあなたの親の意識についてどのように感じていましたか 以下、「A、B」のうち、あなたの感じ方に近いと思うものをお答えください (○はそれぞれ1つずつ)

【A】「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」

【B】「結婚したら女性は家事・子育てに専念すべきだ」

〈 父 親 〉

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 【A】に近い | 14.0% |
| 2. どちらかという【A】に近い | 20.4% |
| 3. どちらかという【B】に近い | 32.8% |
| 4. 【B】に近い | 26.0% |
| 不明・無回答 | 6.7% |

〈 母 親 〉

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 【A】に近い | 16.5% |
| 2. どちらかという【A】に近い | 27.9% |
| 3. どちらかという【B】に近い | 31.1% |
| 4. 【B】に近い | 19.6% |
| 不明・無回答 | 4.9% |

問 10

すべての方がお答えください

あなたは、現在働いていますか また、配偶者がおられる場合、配偶者は働いていますか (○はそれぞれ1つずつ)

①あなたは

- a. 働いている 70.6%
- b. 働いていない 28.9%
- 不明・無回答 0.5%

②配偶者は

- c. 働いている 66.1%
- d. 働いていない 22.9%
- 不明・無回答 11.0%

<以前はいかがでしたか>

- 1. 以前は働いていた 89.2%
- 2. 働いた経験はない 8.4%
- 不明・無回答 2.5%

<以前はいかがでしたか>

- 1. 以前は働いていた 92.1%
- 2. 働いた経験はない 2.0%
- 不明・無回答 5.9%

あなたと配偶者の就業形態は次のうちどれにあてはまりますか(○はそれぞれいくつでも)

①で「a. 働いている」と回答された方のみお答えください

②で「c. 働いている」と回答された方のみお答えください

③あなたの就業形態は

- 1. 自営業主 8.4%
- 2. 家族従業者 3.1%
- 3. 内職 0.9%
- 4. 会社などの役員 4.4%
- 5. 正規の職員・従業員 46.1%
- 6. パート・アルバイト 27.0%
- 7. 派遣社員 1.6%
- 8. 契約社員・嘱託 5.0%
- 9. その他(具体的に) 2.3%
- 不明・無回答 1.1%

④配偶者の就業形態は

- 1. 自営業主 10.3%
- 2. 家族従業者 3.7%
- 3. 内職 0.4%
- 4. 会社などの役員 8.9%
- 5. 正規の職員・従業員 45.6%
- 6. パート・アルバイト 21.6%
- 7. 派遣社員 1.4%
- 8. 契約社員・嘱託 4.8%
- 9. その他(具体的に) 2.1%
- 不明・無回答 1.4%

問 11

問 10①で「a. 働いている」と回答された方のみお答えください

あなたの職場や環境で、次の項目にあてはまるものはありますか (○はいくつでも)

- 1. 給与などに関する男女間格差がある 14.2%
- 2. 労働時間が長い 26.6%
- 3. 育児休業・介護休業中の代替要員の確保など、気がねなく制度を利用できる職場環境ではない 27.0%
- 4. 育児休業・介護休業を利用した者が、職場で不利な扱いを受けることがある 5.3%
- 5. 子育てや介護のために退職した社員を元の会社で再雇用する制度がない 17.8%
- 6. 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給付が充実していない 16.5%
- 7. 事業所内の保育施設が充実していない 41.1%
- 8. 地域の保育施設や、保育時間の延長など保育内容が充実していない 12.9%
- 9. 職業上必要な知識・技術など社員教育が充実していない 15.3%
- 10. パートタイマーや派遣労働者の労働条件がよくない 19.1%
- 11. 在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務など、柔軟な勤務制度を導入していない 22.8%
- 12. 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力が少ない 4.1%
- 不明・無回答 22.2%

問 12 問 10①で「a. 働いている」と回答された方のみお答えください

- 1 過去1年間の年次有給休暇の取得状況はどうでしたか (〇は1つ)
- | | |
|---------------|-------|
| 1. すべて取った | 7.7% |
| 2. おおむね取った | 17.1% |
| 3. 少しは取った | 36.2% |
| 4. 全く取らなかった | 13.7% |
| 5. その他(具体的に) | 19.5% |
| 不明・無回答 | 5.8% |
- 2 取得した年次有給休暇について、どのような用途で使いましたか (〇はいくつでも)
- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 旅行(帰省含む)・レジャー・趣味などの外出 | 57.8% |
| 2. 家での休養 | 39.1% |
| 3. 自分の病気・けがの療養 | 36.4% |
| 4. 家族などの病気・けがの看病 | 18.0% |
| 5. 家族などの介護 | 6.6% |
| 6. 家事・子育て | 14.9% |
| 7. 役所への届け出など | 13.6% |
| 8. 自己啓発のための学習など | 4.6% |
| 9. 地域活動(ボランティアなど) | 6.6% |
| 10. その他の活動(具体的に) | 7.1% |
| 不明・無回答 | 0.2% |

問 13～問 15は女性の方のみお答えください 男性の方は問 16からお答えください

問 13 問 10①で「b.働いていない」と回答された女性の方のみお答えください

あなたが、現在働いていないのは、主にどのような理由からですか (〇は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 自宅に近い勤め先が見つからない | 11.3% |
| 2. 希望の給料に合う勤め先が見つからない | 3.3% |
| 3. 希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない | 17.3% |
| 4. 希望の雇用形態に合う勤め先が見つからない | 11.3% |
| 5. 趣味など仕事以外にやりたいことがある | 10.7% |
| 6. 健康上の理由 | 20.6% |
| 7. 家族が反対する | 6.0% |
| 8. 経済的に働く必要がない | 18.2% |
| 9. 子育ての負担が大きい | 21.5% |
| 10. 家事の負担が大きい | 16.1% |
| 11. 親や家族の介護・看護 | 16.4% |
| 12. 働きたくない | 3.0% |
| 13. 高齢のため | 14.9% |
| 14. その他(具体的に) | 16.4% |
| 15. 特に理由はない | 3.0% |
| 不明・無回答 | 0.9% |

問 14-1

①結婚、②妊娠・出産・子育て、③介護を機に仕事をやめた経験のある女性の方のみお答えください

仕事をやめた理由は何ですか。次の1～12の中からあてはまる理由について、それぞれお答えください (○はそれぞれいくつでも)

	①結婚	②妊娠・ 出産・ 子育て	③介護
勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しかったから	48.4%	55.2%	56.4%
家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため	21.3%	21.0%	12.8%
家事・子育て・介護に時間をとれたため	17.8%	49.6%	41.0%
家事・子育て・介護に対して配偶者などまわりの人の支援が得られなかったため	5.2%	21.8%	20.5%
配偶者など家族が希望したため	15.0%	16.3%	15.4%
辞めるのが当然だと自分自身で思ったため	22.0%	23.4%	23.1%
体力面で厳しかったため	11.8%	25.8%	35.9%
他にやりたいことがあったため	3.1%	0.4%	2.6%
結婚に伴い転居しなければならなかったため	33.1%		
保育所や放課後児童クラブなどの保育サービスが十分利用できなかったため		7.9%	
施設や在宅介護などの介護サービスが十分利用できなかったため			28.2%
その他(具体的に)	2.1%	5.2%	5.1%

-2

問 14-1 で「1.勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しかったから」、「2.家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため」と回答された女性の方のみお答えください

仕事をやめた仕事上の理由は何ですか。次の1～11の中からあてはまる理由について、それぞれお答えください (○はそれぞれいくつでも)

	①結婚	②妊娠・ 出産・ 子育て	③介護
仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気がなかった	46.2%	42.9%	66.7%
残業などで労働時間が長く、時間的に厳しかった	31.6%	31.9%	33.3%
仕事と家庭を両立しようとする環境が難しい環境だった	14.6%	10.4%	12.5%
自分の能力や技術を高められる仕事ではなかった	11.7%	8.0%	16.7%
昇進や昇格、昇給の見通しが立たなかった	7.0%	4.9%	8.3%
同じような状況で仕事をしている人がまわりにいなかった	32.2%	28.8%	41.7%
目標となる上司や先輩がまわりにいなかった	12.9%	11.0%	8.3%
処遇に男女差があった	8.8%	6.1%	8.3%
女性を育成していこうとする会社・組織ではなかった	17.5%	16.0%	16.7%
いったん辞めてもまたいつでも就ける仕事だった	4.7%	14.1%	16.7%
その他(具体的に)	15.8%	16.0%	8.3%
不明・無回答	8.8%	11.0%	0.0%

問 15 女性の方のみお答えください

今後あなたが働くとしたら、どのような仕事がしたいですか（○はそれぞれ1つずつ）

[現在働いている方]		[現在無職の方]	
1. 今の仕事を続けたい	56.3%	1. 仕事に就きたいとは思わない	46.6%
2. 今とは違う仕事をしたい	35.3%	2. 仕事に就きたい	50.1%
不明・無回答	8.4%	不明・無回答	3.3%

上記質問で「2. 今とは違う仕事をしたい」「2. 仕事に就きたい」と回答された女性の方のみお答えください

a. 働きたい形態は			
1. 自営業主	4.0%	6. パート・アルバイト	49.1%
2. 家族従業者	0.6%	7. 派遣社員	2.3%
3. 内職	0.6%	8. 契約社員・嘱託	2.0%
4. 会社などの役員	0.6%	9. その他(具体的に)	2.6%
5. 正規の職員・従業員	33.0%	不明・無回答	5.2%
b. 働きたい職種			
1. 事務職	37.9%	5. 研究職	2.3%
2. 営業職	2.3%	6. その他(具体的に)	11.8%
3. 販売職	18.4%	不明・無回答	13.8%
4. 技術職	13.5%		
c. 働きたい業種			
1. 農林漁業	0.6%	9. 不動産業	1.4%
2. 建設業	1.4%	10. 飲食/宿泊業	10.9%
3. 製造業	8.0%	11. 医療/福祉	20.4%
4. 電気/ガス/水道業	0.0%	12. 教育/学習支援	10.9%
5. 運輸業	0.0%	13. 公務	8.0%
6. 情報通信業	1.4%	14. その他(具体的に)	6.6%
7. 卸売/小売業	10.1%	不明・無回答	17.2%
8. 金融/保険	2.9%		
d. 働きたい地域は			
1. 奈良県内	79.9%	4. その他地域	2.6%
2. 大阪府	8.6%	5. 自宅	2.6%
3. 京都府	0.6%	不明・無回答	5.7%
e. 通勤時間			
1. 30分未満	62.6%	4. 1時間30分～2時間未満	0.6%
2. 30分～1時間未満	24.4%	5. 特になし	2.6%
3. 1時間～1時間30分未満	6.9%	不明・無回答	2.9%
f. 始業時刻			
1. 午前8時以前	1.1%	6. 午前10時30分	0.0%
2. 午前8時30分	12.6%	7. 午前11時	0.9%
3. 午前9時	49.4%	8. 午前11時30分	0.0%
4. 午前9時30分	15.5%	9. 正午以降	1.7%
5. 午前10時	14.7%	不明・無回答	4.0%
g. 終業時刻			
1. 午後2時30分以前	11.5%	6. 午後5時	26.7%
2. 午後3時	12.9%	7. 午後5時30分	5.7%
3. 午後3時30分	2.9%	8. 午後6時	7.8%
4. 午後4時	16.4%	9. 午後6時30分以降	3.7%
5. 午後4時30分	7.5%	不明・無回答	4.9%

問 16～25はすべての方がお答えください

問 16 男女がともに、仕事と家庭の両立を実現するためには、どのような条件が特に必要
 だと思いますか (○は3つまで)

- | | |
|---|-------|
| 1. 給与などに関する男女間格差をなくすこと | 17.7% |
| 2. 労働時間を短縮すること | 24.3% |
| 3. 育児休業・介護休業中の代替要員の確保など、気がねなく制度を利用できる職場環境をつくること | 47.0% |
| 4. 育児休業・介護休業を利用した者が、職場で不利な扱いを受けることのない体制をつくること | 25.3% |
| 5. 子育てや介護のために退職した社員を元の会社で再雇用する制度を導入すること | 17.9% |
| 6. 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給付を充実すること | 14.0% |
| 7. 事業所内の保育施設を充実すること | 15.0% |
| 8. 地域の保育施設や、保育時間の延長など保育内容を充実すること | 27.0% |
| 9. 職業上必要な知識・技術など社員教育が充実すること | 4.8% |
| 10. パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること | 21.0% |
| 11. 在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度など、柔軟な勤務制度を導入すること | 20.6% |
| 12. 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること | 27.9% |
| 13. その他(具体的に) | 2.0% |
| 不明・無回答 | 4.6% |

問 17-1 男性が育児休業を取得することについてどう思いますか (○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 積極的に取得した方がよい | 32.3% |
| 2. どちらかという取得した方がよい | 47.4% |
| 3. どちらかという取得しない方がよい | 16.1% |
| 4. 取得しない方がよい | 3.5% |
| 不明・無回答 | 0.7% |

-2 あなたの職場では、男性が育児休業を取得しやすいですか (○は1つ)
 (働いていない方は、5.その他に○をつけてください)

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 取得しやすい | 2.7% |
| 2. どちらかという取得しやすい | 8.6% |
| 3. どちらかという取得しにくい | 15.5% |
| 4. 取得しにくい | 35.6% |
| 5. その他(具体的に) | 34.6% |
| 不明・無回答 | 3.0% |

問 18-1 男性が介護休業を取得することについてどう思いますか (○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 積極的に取得した方がよい | 42.4% |
| 2. どちらかという取得した方がよい | 44.5% |
| 3. どちらかという取得しない方がよい | 9.9% |
| 4. 取得しない方がよい | 2.6% |
| 不明・無回答 | 0.7% |

-2 あなたの職場では、男性が介護休業を取得しやすいですか (○は1つ)
 (働いていない方は、5.その他に○をつけてください)

1. 取得しやすい	3.4%
2. どちらかという取得しやすい	8.6%
3. どちらかという取得しにくい	17.3%
4. 取得しにくい	33.5%
5. その他(具体的に)	34.2%
不明・無回答	3.0%

問 19-1 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、
あなたの希望に最も近いものはどれですか (○は1つ)

※「家庭生活」・・・家族と過ごすこと、家事(食事の支度・片付け、掃除、洗濯、買い物等)、
 子育て、介護・看護など
 「地域・個人の生活」・・・地域活動(ボランティア活動、社会参加活動、交際・つきあいな
 ど)・学習・研究(学業も含む)、趣味・娯楽、スポーツなど

1. 「仕事」を優先したい	4.1%
2. 「家庭生活」を優先したい	28.2%
3. 「地域・個人の生活」を優先したい	3.5%
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	31.0%
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	2.6%
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	10.0%
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	19.9%
不明・無回答	0.7%

-2 あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか (○は1つ)

1. 「仕事」を優先している	31.0%
2. 「家庭生活」を優先している	29.9%
3. 「地域・個人の生活」を優先している	3.8%
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	19.8%
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	3.3%
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	6.4%
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	4.5%
不明・無回答	1.4%

問 20-1 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という言葉をご存じですか
(○は1つ)

ワーク・ライフ・バランスとは

「一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できるようになること」です

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 言葉も内容も知っている | 20.4% |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない | 24.3% |
| 3. 言葉も内容も知らない | 53.8% |
| 不明・無回答 | 1.6% |

-2 あなた自身の生活や周りの環境から判断して、以下の社会が実現できていると思いますか
(○はそれぞれ1つずつ)

ワーク・ライフ・バランスが実現した社会とは

(1) 就労による経済的自立が可能な社会

経済的自立を必要とする者とりわけ若者がいきいきと働くことができ、かつ、経済的に自立可能な働き方ができ、結婚や子育てに関する希望の実現などに向けて、暮らしの経済的基盤が確保できる

(2) 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会

働く人々の健康が保持され、家族・友人などとの充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などを持てる豊かな生活ができる

(3) 多様な働き方・生き方が選択できる社会

性や年齢などにかかわらず、誰もが意欲と能力を持って様々な働き方や生き方に挑戦できる機会が提供されており、子育てや親の介護が必要な時期など個人の置かれた状況に応じて多様で柔軟な働き方が選択でき、しかも公正な処遇が確保されている

	実現できている	どちらかという 実現できている	どちらかという 実現できていない	実現できていない	不明・無回答
(1) 就労による経済的自立が可能な社会	5.3%	26.2%	39.1%	26.1%	3.2%
(2) 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会	2.7%	26.3%	46.1%	21.8%	3.0%
(3) 多様な働き方・生き方が選択できる社会	2.4%	18.2%	45.0%	31.3%	3.1%

問 21-1 女性が社会で活躍するために必要なことは何だと思いますか (○はいくつでも)

1. 男性の積極的な家事・子育て・介護参加	57.7%
2. 家族・地域による家事・子育て・介護支援	48.9%
3. 保育の施設・サービスの充実	61.8%
4. 高齢者等の福祉施設や介護サービスの充実	48.9%
5. 利用しやすい(子育て・介護以外の)家事サービスがあること	26.0%
6. スキルアップに向けた研修や就職相談等、就職しやすい環境が整っていること	25.5%
7. 起業を希望する際に相談や情報・ノウハウの取得が容易なこと	9.9%
8. その他(具体的に)	3.8%
不明・無回答	1.3%

-2 女性が職場で活躍するために必要なことは何だと思いますか (○はいくつでも)

1. 組織のトップが女性の活躍の促進に積極的であること	34.9%
2. 職場の上司・同僚が、女性が働くことについて理解があること	61.7%
3. 子育て・介護との両立についての職場の支援制度が整っていること	69.6%
4. 職場で長時間労働の必要がないこと、勤務時間が柔軟であること	51.4%
5. 身近に活躍している女性がいること	14.7%
6. 仕事が適正に評価されること	44.2%
7. 仕事の内容にやりがいがあること	35.0%
8. その他(具体的に)	2.3%
不明・無回答	1.3%

問 22 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか (○はいくつでも)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	59.6%
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	17.7%
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	57.4%
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	32.1%
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること	47.9%
6. 労働時間短縮や休暇制度の普及などで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	45.6%
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心が高めるよう啓発や情報提供を行うこと	26.2%
8. 国や地方公共団体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	14.8%
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること	17.0%
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	19.8%
11. その他(具体的に)	2.9%
12. 特に必要なことはない	1.0%
不明・無回答	1.4%

問 23 あなたは、どのような活動を通じて社会に役立ちたいと思いますか。次の1～15の中から①これまでに行ったことのある活動、また、②今後行いたい活動について、それぞれお答えください

(○はそれぞれいくつでも)

	①これまでに行ったことのある活動	②今後行いたい活動
青少年健全育成に関する活動(ボーイスカウト・ガールスカウト活動、子ども会など)	37.6%	8.1%
体育・スポーツ・文化に関する活動(スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など)	33.3%	16.7%
自主防災活動や災害援助活動	18.3%	25.7%
公共施設での活動(公民館における託児、博物館の展示説明員など)	5.2%	17.1%
人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道など)	6.9%	17.6%
国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、技術援助、留学生援助など)	4.5%	16.4%
社会福祉に関する活動(高齢者や障害者などに対する介護、身の回りの世話、給食、保育など)	14.9%	25.2%
保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティアなど)	4.3%	16.3%
自然・環境保護に関する活動(環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など)	35.7%	28.0%
交通安全に関する活動(子どもの登下校時の安全監視など)	28.2%	21.5%
募金活動、チャリティーバザー	24.9%	12.1%
町内会などの地域活動(お祝い事や不幸事などの手伝い、町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など)	53.2%	19.6%
家事や子どもの養育を通して	27.8%	24.8%
自分の職業を通して	33.6%	29.9%
その他(具体的に)	1.0%	1.6%

奈良県では、奈良県男女共同参画計画(平成18～27年度)において、次の基本目標を掲げ男女共同参画社会の推進に取り組んでいます

奈良県男女共同参画計画の基本目標

- (1)職場や地域などあらゆる分野における意思決定の場への女性の参画
- (2)男女が意欲と能力に応じていきいきと働ける環境
- (3)家庭と仕事・地域活動のバランスがとれ、男女がともに支え合うライフスタイルの実現
- (4)女性に対する暴力の根絶など、男女の人権の尊重
- (5)『男ならこうあるべき』、『女ならこうすべき』といった固定的な性別役割分担意識の払しょくなど、男女共同参画社会実現に向けた意識の向上

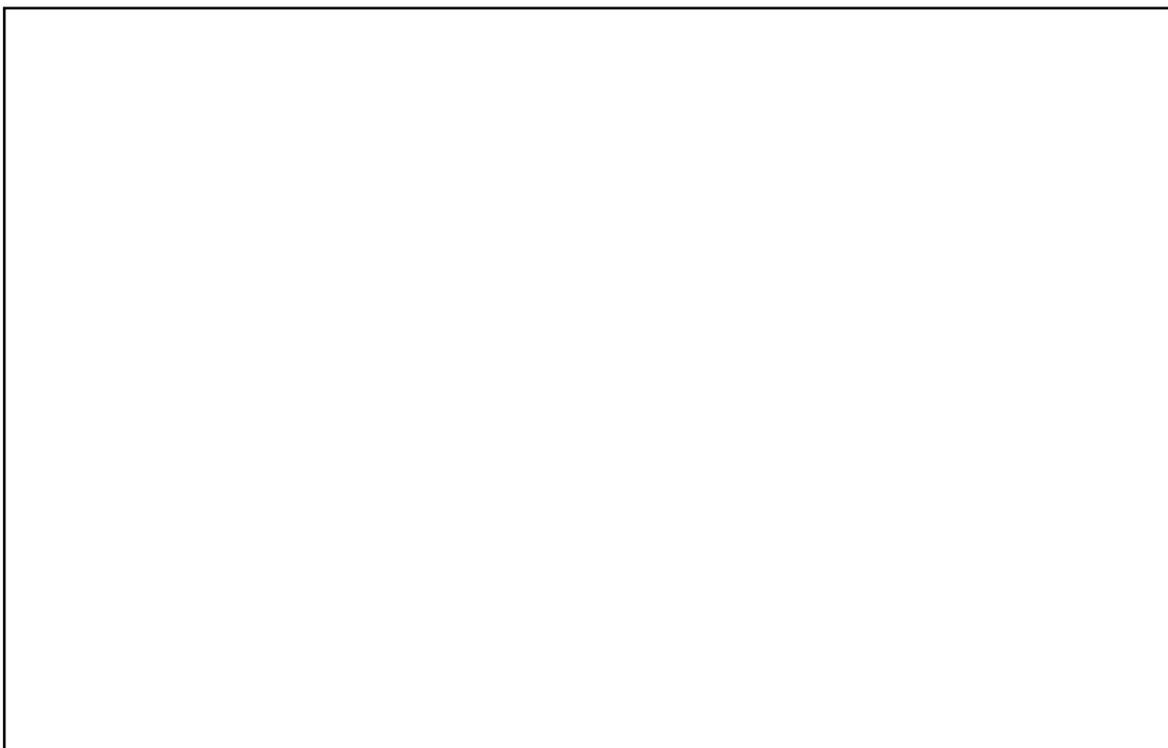
問 24-1 あなた自身の生活や周りの環境から判断して、以下の項目について取り組みが進んでいると思いますか (○はそれぞれ1つずつ)

	進んでいる	どちらかというに進んでいる	どちらかというに進んでいない	進んでいない	不明・無回答
(1)職場や地域などあらゆる分野における意思決定の場への女性の参画	4.6%	28.2%	47.7%	15.0%	4.5%
(2)男女が意欲と能力に応じていきいきと働ける環境	3.6%	26.2%	50.5%	15.6%	4.0%
(3)家庭と仕事・地域活動のバランスがとれ、男女がともに支え合うライフスタイルの実現	1.8%	22.8%	52.8%	18.1%	4.5%
(4)女性に対する暴力の根絶など、男女の人権の尊重	6.8%	36.6%	37.4%	13.8%	5.4%
(5)『男ならこうあるべき』、『女ならこうすべき』といった固定的な性別役割分担意識の払しょくなど、男女共同参画社会実現に向けた意識の向上	3.3%	28.9%	48.4%	15.0%	4.4%

-2 男女共同参画社会を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか (○はいくつでも)

- 1. 各種制度の見直しを行う 29.2%
- 2. 地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する 28.7%
- 3. 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する 28.2%
- 4. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する 17.5%
- 5. 従来、女性が少なかった分野(研究者等)への女性の進出を支援する 22.3%
- 6. 保育の施設・サービスや、高齢者等の福祉施設や介護サービスを充実する 62.5%
- 7. 男女共同参画について学習機会を充実する 13.0%
- 8. 労働時間の短縮や在宅就労の普及など男女共に働き方の見直しを進める 43.8%
- 9. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する 60.9%
- 10. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する 54.5%
- 11. 男女共同参画について広報・PR する 12.7%
- 12. その他(具体的に) 2.1%
- 13. 特にない 1.4%
- 不明・無回答 2.8%

問 25 最後に、就労をはじめとする女性の社会参加を支援・促進するために必要な奈良県の施策について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい



大変お忙しい中、多くの調査項目にお答えいただき、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れていただき、**平成26年6月20日(金)まで**にご投函くださいますようお願い申し上げます。